

# 第100期

---

## 定時株主総会招集ご通知

### 開催日時

---

2026年6月25日(木曜日) 午前10時  
受付開始時間 午前9時30分

### 開催場所

---

大阪市北区中之島5丁目3番68号 当会社  
(リーガロイヤルホテル大阪  
ヴィニェット コレクション 2階・桐の間)

### 決議事項

---

第1号議案 剰余金の処分の件  
第2号議案 取締役11名選任の件  
第3号議案 監査役2名選任の件

インターネットまたは書面(郵送)  
による議決権行使期限

2026年6月24日(水曜日)  
午後5時30分まで

**株主総会のお土産、待合室でのお飲み物等は  
ご用意しておりません。**

# 人を、地域を、日本を、世界を、 あたたかい心で満たしていこう。

人や地域や国の魅力と文化を発見し、理解し、思い出を持ち帰る。

人と人との交流は、それぞれの心にあたたかい思い出を残し、それぞれの人生を豊かにし、  
やがて、世界を平和にしてくれる。私たちはそう信じています。

この地球の上で、人と人、地域と地域、国と国の交流の起点となり、

そこからゆっくり波紋が広がるように、心に灯ったあたたかさで世界を満たしていきたい。

お客さま、サプライヤーの皆さま、投資家の皆さま、地域の皆さま、

全てのステークホルダーの皆さまと一緒に、私たちはこの志を実現していきたい。

その呼びかけがこのパーパス・ステートメントです。

紡いできたあたたかい思い出、この志を共にする皆さまとの絆、そして、

家族に寄り添うようなあたたかい心くばりこそが、

これまでもこれからも変わらない、未来に向けた私たちの誇りの源です。

## 目次

第100期定時株主総会招集ご通知	03	連結計算書類	43
インターネットによる議決権行使のご案内	06	計算書類	45
株主総会参考書類	07	監査報告書	47
第1号議案 剰余金の処分の件	07	中期経営計画	53
第2号議案 取締役11名選任の件	08	新規ホテル 今後の開業予定	
第3号議案 監査役2名選任の件	19	安全・安心で持続可能な社会の実現に向けて	55
事業報告	21	営業情報のお知らせ	57

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第100期定時株主総会招集ご通知をお届けいたします。

当期は株式会社芝パークホテルの完全子会社化に加え、大阪・関西万博開催による国内需要やインバウンド取り込みにより宿泊部門を中心に既存ホテルの収益が改善したことから、売上高、利益ともに期初予想を上回る着地となりました。

2026年度は中期経営計画の最終年度として、2035年に迎える創業100周年への新たな成長に向けた基盤を強化してまいります。本年は沖縄、大阪、福岡に新ホテルが開業するほか、2029年にかけてさらに4件のホテル開業計画を決定しました。新人事制度の運用による人的資本の強化、運営効率向上と収益力強化のためのDX推進、海外セールス基盤増強やリーガメンバーズアプリの機能拡大によるセールス&マーケティング強化といった取組みを着実に実行してまいります。

目まぐるしく変化する情勢のなか、先人から受け継いできたおもてなしを確かな軸として、新しい価値の提供にも挑戦することで、パーパス「人を、地域を、日本を、世界を、あたたかい心で満たしていこう。」をしっかりと実現し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 植田 文一



株 主 各 位

(証券コード 9713)  
2026年6月8日  
(電子提供措置の開始日2026年5月29日)  
大阪市北区中之島5丁目3番68号  
株式会社 ロイヤルホテル  
代表取締役社長 植 田 文 一

## 第100期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当会社第100期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトにて電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <https://corp.rihga.co.jp/ir/stock/meeting/>



また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

東京証券取引所ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



上記ウェブサイトへアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「ロイヤルホテル」または「コード」に証券コード(9713)を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご覧ください。

当日ご出席いただけない場合は、同封の議決権行使書用紙のご郵送またはインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ5頁～6頁の案内に従って、2026年6月24日(水曜日)午後5時30分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

## 記

- 1.日 時** 2026年6月25日(木曜日)午前10時  
受付開始時間 午前9時30分
- 2.場 所** 大阪市北区中之島5丁目3番68号 当会社  
(リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション 2階・桐の間)

**3.会議の目的事項**

- 報告事項** 第100期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告、連結計算書類、計算書類  
ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 決議事項** 第1号議案 剰余金の処分の件  
第2号議案 取締役11名選任の件  
第3号議案 監査役2名選任の件

以 上

◎株主総会資料の電子提供制度が導入されましたが、当社は、株主様の混乱を避けご不便の無いようにといった観点から、書面交付請求の有無に関わらず、一律に従前どおり書面でお送りしております。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、株主様へご送付する書面には記載しておりません。

- (1)事業報告の「業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要」及び「業務の適正を確保するための体制の運用状況」
- (2)連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」
- (3)計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

したがいまして、株主様へのご送付書面は、監査報告を作成するに際し、監査役及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、当社ウェブサイト及び東京証券取引所ウェブサイト修正内容を掲載させていただきます。

## 議決権行使についてのご案内



### 当日ご出席による議決権行使

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を

**会場受付にご提出**ください。

また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。



### 書面による議決権行使

書面により議決権を行使することができますので、後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、

**2026年6月24日(水曜日)午後5時30分までに到着**

するようご返送ください。なお、議決権行使書面において、議案に賛否の表示が無い場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。



### インターネットによる議決権行使

インターネットにより議決権を行使することができますので、次頁の【インターネットによる議決権行使のご案内】をご高覧のうえ、画面の案内に従って賛否を

**2026年6月24日(水曜日)午後5時30分までにご入力**

ください。

- 書面とインターネットにより、二重に議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。また、インターネットによって、複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。
- インターネットに関する費用(接続料金、通信料金等)は、株主様のご負担となります。
- インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、ご利用いただけない場合があります。

# インターネットによる議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

議決権行使コード・パスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

1. 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



2. 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



### 「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですが右記の「議決権行使コード・パスワードを入力する方法」により、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログインのうえ、再度議決権行使をお願いいたします。

※ QRコードを再度読み取っていただくと、右記の議決権行使ウェブサイトへアクセスできます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

インターネットによる議決権行使に関するご不明な点につきましては、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行  
証券代行ウェブサポート  
専用ダイヤル

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

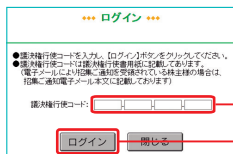
議決権行使ウェブサイト | <https://www.web54.net>

1. 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



「次へすすむ」をクリック

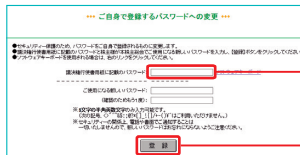
2. 議決権行使書用紙の裏面左下に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

3. 議決権行使書用紙の裏面左下に記載された「パスワード」をご入力ください。



「パスワード」を入力

「登録」をクリック

4. 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

0120-652-031

受付時間：午前9時～午後9時



## 第2号議案 取締役11名選任の件

本総会終結の時をもって取締役全員(11名)が任期満了となります。つきましては、取締役11名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。


候補者 番号	氏名	当社における地位・担当
1	かげやま しゅういち 陰山 秀一 (再任)	取締役会長
2	うえだ ふみかず 植田 文一 (再任)	代表取締役社長
3	おぎた かつのり 荻田 勝紀 (再任)	代表取締役副社長執行役員 事業運営本部担当(兼)事業運営本部長
4	ふくだ かずし 福田 和師 (再任)	取締役常務執行役員 経営企画本部担当(兼)経営企画本部長
5	おぎき ひろし 尾崎 裕 (再任) <span>社外取締役 独立役員</span>	社外取締役
6	しらい あや 白井 文 (再任) <span>社外取締役 独立役員</span>	社外取締役
7	おかもと ひろかず 岡本 浩和 (再任) <span>社外取締役</span>	社外取締役
8	なかむら としろう 中村 俊郎 (再任) <span>社外取締役</span>	社外取締役
9	くにべ たけし 國部 毅 (再任) <span>社外取締役 独立役員</span>	社外取締役
10	なかがわ ともこ 中川 智子 (新任)	執行役員 サステナビリティ推進室担当(兼)サステナビリティ委員長
11	おがわ みちこ 小川 理子 (新任) <span>社外取締役 独立役員</span>	

<p>候補者番号 <b>1</b></p>	<p>かげやま しゅういち <b>蔭山 秀一</b> 1956年7月4日生</p>	<p>所有する当社の株式数 4,300株</p>
<p> <b>再任</b></p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>  1979年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)入行  2012年4月 株式会社三井住友銀行取締役(兼)専務執行役員  2014年4月 同行代表取締役(兼)副頭取執行役員  2015年4月 同行取締役副会長  2015年5月 一般社団法人関西経済同友会代表幹事  2017年4月 株式会社三井住友銀行副会長  2017年6月 当社顧問  2017年6月 代表取締役社長  2023年6月 取締役会長(現在に至る)  2025年3月 一般社団法人日本ホテル協会会長(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>  一般社団法人日本ホテル協会：会長  エレコム株式会社：社外取締役  株式会社ダイヘン：社外監査役</p> <p><b>取締役候補者とした理由</b>  取締役会議長として、取締役会を適切に運営し、代表取締役社長以下の業務執行を適切に指導監督しております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。</p>	
<p>候補者番号 <b>2</b></p>	<p>うえだ ふみかず <b>植田 文一</b> 1966年8月24日生</p>	<p>所有する当社の株式数 2,900株</p>
<p> <b>再任</b></p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>  1985年4月 株式会社京都グランドホテル(現・株式会社ロイヤルホテル)入社  2016年4月 執行役員  2017年4月 グループサービス部門(人事チーム)・リーガロイヤルホテル東京担当  2017年6月 取締役執行役員  2019年4月 人事部担当  2021年4月 セールス統括部・ホテル製品事業部・マーケティング部・ITシステム部担当(兼)経営企画部副担当  2022年6月 代表取締役常務執行役員  2023年4月 ホテル運営本部担当(兼)ホテル運営本部長  2023年6月 代表取締役社長(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>  株式会社倉敷国際ホテル：社外取締役</p> <p><b>取締役候補者とした理由</b>  代表取締役社長として、グループホテル経営を統括しており、経営の意思決定を適切に行っております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。</p>	

候補者番号 <b>3</b>	おぎた かつのり <b>荻田 勝紀</b> 1967年3月30日生	所有する当社の株式数 3,000株
 再任	<p><b>略歴、地位及び担当</b></p> 1989年4月 当社入社 2016年4月 執行役員 2016年10月 RRH京都オペレーションズ合同会社出向 リーガロイヤルホテル京都総支配人 2019年6月 当社取締役執行役員 2019年8月 リーガロイヤルホテル(大阪)(現・リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション)総支配人 2022年6月 代表取締役常務執行役員 2023年2月 京都事業部・財務部・人事部・リーガロイヤルホテル京都担当(兼)財務内部統制委員長(兼)サステナビリティ委員会副委員長 2023年4月 経営企画部・ITシステム部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長 2023年6月 代表取締役副社長執行役員(現在に至る) 経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長 2026年4月 事業運営本部担当(兼)事業運営本部長(現在に至る)	
<p><b>取締役候補者とした理由</b></p> 代表取締役副社長執行役員として、経営企画、人事等を担当し適切に業務執行を行ってきた他、事業運営本部長として、ホテル事業全般を牽引しております。これらのことから引き続き取締役候補者としたしました。		


候補者番号 <b>4</b>	ふくだ かずし <b>福田 和師</b> 1967年5月6日生	所有する当社の株式数 500株
 <p style="text-align: center;"><b>再 任</b></p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b></p> <p>1990年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行) 入行          1998年10月 当社出向 セールス部リーダー(兼)営業戦略企画室長代理          2002年7月 株式会社三井住友銀行 中之島法人営業部 部長代理          2009年7月 同行四国法人営業部 与信グループ長          2015年4月 同行資産監査部(大阪) 上席考査役          2017年4月 当社出向 財務チーム(現・財務部) 担当部長          2018年6月 当社転籍          2019年4月 経営企画部 副部長          2021年4月 経営企画部長          2022年4月 執行役員          2025年6月 取締役執行役員          2026年4月 取締役常務執行役員(現在に至る)          経営企画本部担当(兼)経営企画本部長(現在に至る)</p> <p><b>取締役候補者とした理由</b></p> <p>経営企画本部長として当社の経営戦略の策定及び執行に携わっており、適切に遂行しております。また、過去には営業企画、財務の経験もあり、経営管理にかかる豊富な知見を有しております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。</p>	

候補者番号 <b>5</b>	おざき ひろし <b>尾崎 裕</b> 1950年3月11日生	所有する当社の株式数 0株
	<p><b>略歴、地位及び担当</b>                      1972年5月 大阪瓦斯株式会社入社                      2002年6月 同社取締役                      2005年6月 同社常務取締役                      2008年4月 同社代表取締役社長                      2015年4月 同社代表取締役会長                      2015年12月 大阪商工会議所会頭                      2021年1月 大阪瓦斯株式会社取締役相談役                      2021年6月 当社取締役(現在に至る)                      2021年6月 大阪瓦斯株式会社相談役(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>                      大阪瓦斯株式会社：相談役                      塩野義製薬株式会社：社外取締役                      日本放送協会：経営委員会委員                      広島ガス株式会社：社外取締役</p>	
<p><b>再任</b></p> <p>社外取締役 独立役員</p>	<p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>                      永年にわたり大阪瓦斯株式会社の経営に携われ、経営の専門家としての豊富な経験・見識を有しております。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者いたしました。                      同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって5年となります。</p>	

候補者番号 <b>6</b>	しらい あや <b>白井 文</b> 1960年5月23日生	所有する当社の株式数 0株
	<p><b>略歴、地位及び担当</b>                      1979年4月 全日本空輸株式会社入社                      1993年6月 尼崎市議会議員                      2002年12月 尼崎市市長                      2017年9月 総務省近畿管区行政評価局行政苦情救済推進会議(現・行政改善推進会議)委員(現在に至る)                      2022年6月 当社取締役(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>                      三洋化成工業株式会社：社外取締役                      ブラザー工業株式会社：社外取締役</p>	
<p><b>再任</b></p> <p>社外取締役 独立役員</p>	<p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>                      民間企業、地方議会議員、自治体首長、非営利法人等、官民に亘り多彩な組織を率いた経験を有しておられます。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。同氏は、社外役員となること以外の方で会社経営に関与された経験はありませんが、上記の理由から引き続き社外取締役候補者いたしました。                      同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって4年となります。</p>	

<p>候補者番号 <b>7</b></p>	<p>おかもと ひろかず <b>岡本 浩和</b> 1971年7月16日生</p>	<p>所有する当社の株式数 0株</p>
 <p><b>再任</b> 社外取締役</p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>  1995年4月 株式会社日本長期信用銀行入社(現・株式会社SBI新生銀行)  1998年10月 アンダーセン・コンサルティング株式会社(現・アクセンチュア株式会社)入社  2000年2月 株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ共同設立 同社取締役  2001年7月 株式会社シンクバンク共同設立 同社取締役  2003年9月 株式会社リサ・パートナーズ取締役  2008年5月 コロンビア大学 ビジネススクール 日本経済経営研究所 客員研究員  2009年6月 株式会社キャタリスト・パートナーズ設立 同社代表取締役(現在に至る)  2010年10月 グリーンオーク・リアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社(現・BGOリアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社)入社  2010年12月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社(現・ベントール・グリーンオーク株式会社)取締役  2011年7月 グリーンオーク・リアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社代表取締役(現在に至る)  2013年1月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社常務取締役(現在に至る)  2023年6月 当社取締役(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>  ベントール・グリーンオーク株式会社：常務取締役</p> <hr/> <p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>  資本業務提携先であるベントール・グリーンオーク株式会社の常務取締役を務めており、金融、コンサルティング、不動産等、多岐に亘る業界で実務経験を有しておられます。当社の社外取締役としても、同社との提携に基づき、当社の競争力強化と成長戦略の実行に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者といいたしました。  同氏の当社社外取締役役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって3年となります。</p>	

<p>候補者番号 <b>8</b></p>	<p>なかむら としろう <b>中村 俊郎</b> 1982年12月16日生</p>	<p>所有する当社の株式数 0株</p>
 <p><b>再任</b> 社外取締役</p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>                  2006年4月 メリルリンチ日本証券株式会社(現・BofA証券株式会社)入社                  2015年10月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社(現・ベントール・グリーンオーク株式会社)入社                  2019年9月 同社取締役(現在に至る)                  2023年6月 当社取締役(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>                  ベントール・グリーンオーク株式会社：取締役</p> <p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>                  資本業務提携先であるベントール・グリーンオーク株式会社の取締役を務めており、証券金融、投資ファンド等の勤務経験を通じて、多岐に亘る企業に対し収益力強化に向けての施策を主導した経験を有しておられます。当社の社外取締役としても、同社との提携に基づき、当社の競争力強化と成長戦略の実行に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者となりました。                  同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって3年となります。</p>	
<p>候補者番号 <b>9</b></p>	<p>くにべ たけし <b>國部 毅</b> 1954年3月8日生</p>	<p>所有する当社の株式数 0株</p>
 <p><b>再任</b> 社外取締役 独立役員</p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>                  1976年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)入行                  2007年6月 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役                  2011年4月 株式会社三井住友銀行頭取(代表取締役)(兼)最高執行役員                  2017年4月 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役社長(代表取締役)                  2017年6月 同社取締役執行役社長(代表執行役)                  2019年4月 同社取締役会長                  2021年10月 株式会社三井住友銀行取締役会長                  2023年4月 同行取締役退任                  2025年6月 当社取締役(現在に至る)                  2025年6月 株式会社三井住友フィナンシャルグループ特別顧問                  2026年3月 同社名誉顧問(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>                  株式会社三井住友フィナンシャルグループ：名誉顧問                  大正製薬ホールディングス株式会社：社外取締役                  株式会社小松製作所：社外取締役                  株式会社NANKAI：社外取締役(監査等委員)                  株式会社ファーストリテイリング：社外取締役</p> <p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>                  永年にわたり株式会社三井住友フィナンシャルグループの経営に携われ、金融・経営の専門家としての豊富な経験・見識を有しておられます。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者となりました。                  同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって1年となります。</p>	

<p>候補者番号 <b>10</b></p>	<p>なかがわ ともこ <b>中川 智子</b> 1961年8月31日生</p>	<p>所有する当社の株式数 0株</p>
 <p><b>新任</b></p>	<p><b>略歴、地位及び担当</b></p> <p>1984年4月 当社入社 2017年4月 執行役員 リーガロイヤルホテル(大阪)(現・リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション)副総支配人 2019年4月 株式会社リーガロイヤルホテル東京出向 リーガロイヤルホテル東京総支配人 2022年4月 当社リーガロイヤルホテル(大阪)総支配人 2022年6月 取締役執行役員 2023年4月 常務執行役員 RRHOオペレーションズ株式会社出向 リーガロイヤルホテル(大阪)総支配人 2025年4月 リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション総支配人 2026年4月 当社執行役員(現在に至る) サステナビリティ推進室担当(兼)サステナビリティ委員長(現在に至る)</p> <p><b>取締役候補者とした理由</b></p> <p>これまで複数のグループホテルの総支配人を務める等、ホテル運営に関する豊富な知識・経験を有しております。また、現在はサステナビリティ推進室の担当役員として、当社の持続的成長に貢献すべく業務に従事しています。これらのことから今回新たに取締役候補者いたしました。</p>	

<p>候補者番号 <b>11</b></p>	<p>おがわ みちこ <b>小川 理子</b> 1962年12月4日生</p>	<p>所有する当社の株式数 0株</p>
<div data-bbox="169 344 400 632" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="238 651 334 746" data-label="Text"> <p><b>新任</b> 社外取締役 独立役員</p> </div>	<p><b>略歴、地位及び担当</b>          1986年4月 松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)入社          2015年4月 同社役員 テクニクスブランド事業担当 アプライアンス社常務          2015年11月 同社ホームエンターテインメント事業部長          2018年1月 同社執行役員 アプライアンス社副社長 技術担当(兼)技術本部長 テクニクスブランド事業担当          2021年4月 パナソニック株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)参与          テクニクスブランド事業担当(兼)関西渉外・万博担当          2025年4月 パナソニックホールディングス株式会社執行役員 渉外担当、ソリューションパートナー担当          (兼)テクニクスブランド事業担当(現在に至る)          2026年1月 同社企業市民活動担当(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b>          パナソニックホールディングス株式会社：執行役員          マツダ株式会社：社外取締役          一般社団法人日本オーディオ協会：会長          株式会社大阪国際会議場：社外取締役</p> <p><b>社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要</b>          パナソニックホールディングス株式会社の執行役員としての豊富な経験・見識を有しておられる他、プロのジャズピアニストとしての一面を持ち合わせておられます。その豊富な経験・見識、そして芸術的なセンスを活かし、当社の経営全般及びホテル運営に対する助言・監督により、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから今回新たに社外取締役候補者といたしました。</p>	

- (注) 1. 中川智子、小川理子の両氏は、新任取締役候補者であります。
2. 所有する当社の株式はいずれも普通株式であります。
  3. 取締役候補者のうち、尾崎裕、白井文、岡本浩和、中村俊郎、國部毅、小川理子の6氏は、社外取締役候補者であります。なお、尾崎裕、白井文、國部毅の3氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。また、小川理子氏は新たに独立役員となる予定です。
  4. 取締役候補者岡本浩和及び中村俊郎の両氏は、当社の特定関係事業者（主要取引先）であるベントール・グリーンオーク株式会社の業務執行者であります。同社及び同社グループのBlossoms Holding HK Limitedは当社と資本業務提携契約を締結しており、当社は同社のグループ会社とリーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツト コレクションの運営委託契約を締結しております。また、Blossoms Holding HK Limitedは当社の発行済普通株式の23.7%を保有する大株主であります。なお、当社は同社のグループ会社との間で当社ウェブサイトに掲載の「個別注記表10. 関連当事者との取引に関する注記」に記載した取引があります。
  5. 取締役候補者國部毅氏は、過去10年間において、当社の特定関係事業者（主要取引先）である株式会社三井住友銀行の業務執行者であったことがあります。
  6. その他の候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
  7. 社外取締役候補者が過去5年間に他の株式会社の取締役、執行役又は監査役に就任していた場合において、その在任中の当該株式会社における法令又は定款に違反する事実その他不当な業務執行が行われた事実等について
    - ・國部毅氏は株式会社三井住友フィナンシャルグループ（以下、「SMFG」という。）の取締役に就任していたほか、株式会社三井住友銀行（以下、「SMBC」という。）の取締役に就任しておりましたが、SMFG及びSMFGの子会社であるSMBC日興証券株式会社（以下、「日興証券」という。）は、日興証券の元役員が金融商品取引法第159条第3項（違法な安定操作取引）に違反した事態に関して、2022年10月に金融庁より金融商品取引法に基づく行政処分を受けました。また、日興証券は、同事態に関して、2023年2月に東京地方裁判所より有罪判決を受け、同判決が確定しております。更に、2022年10月、日興証券は、日興証券及びSMFGの子会社であるSMBCの役員員の間で非公開情報を授受した事態に関して、金融庁より金融商品取引法に基づく行政処分を受けました。同事態に関して、SMFG及びSMBCは、金融庁より金融商品取引法及び銀行法に基づく報告徴求命令を受けました。同氏は当該事態を認識していませんでしたが、恒常的に、取締役会や各委員会等において、法令遵守、業務の適切性の確保及びリスク管理等の重要性を述べると共に、それらの徹底につき提言を行っており、事態判明後においても、取締役会や各委員会等での審議等を通じて、実効的な再発防止策の策定及び遂行、SMBCグループの更なる法令遵守体制及び内部管理体制の強化ならびに健全な企業文化の醸成に向けた取組み等を推進いたしました。
  8. 社外取締役との責任限定契約について
    - 尾崎裕、白井文、岡本浩和、中村俊郎、國部毅の5氏は、現在、当社の社外取締役であり、当社は5氏との間で責任限定契約を締結しております。その契約内容の概要は、次のとおりであります。
      - ・社外取締役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。
      - 5氏の再任が承認された場合、当社は5氏との間で当該責任限定契約は引き続き効力を有するものとしております。
      - また、新任の社外取締役候補者である小川理子氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で上記内容の責任限定契約を締結する予定であります。
  9. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社及び当社連結子会社の取締役及び監査役ならびに当社執行役員であり、新任の取締役候補者中川智子氏及び社外取締役候補者小川理子氏は、選任後、被保険者に含まれることとなります。なお、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
  10. 略歴、地位及び担当は、2026年5月14日時点で記載しております。

## 取締役候補者のスキルマトリックス

項目	期待する知見・スキル						
	社会・経済・経営全般に関する見識	経営戦略	リスク管理	サステナビリティ	ホテル経営		
					オペレーション	マーケティング	経営管理
蔭山 秀一	●	●	●	●			●
植田 文一	●	●	●	●	●	●	●
荻田 勝紀		●	●	●	●	●	●
福田 和師		●	●	●			●
尾崎 裕	●	●	●	●			
白井 文	●		●	●			
岡本 浩和		●	●	●			
中村 俊郎		●	●	●			
國部 毅	●	●	●	●			
中川 智子				●	●	●	●
小川 理子	●	●		●			


※各候補者に特に期待する知見・スキルであり、各候補者の有する全ての知見・スキルを表すものではありません。


## 第3号議案 監査役2名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役松本浩氏が任期満了となります。また監査役北垣真紀氏が2025年6月14日付で逝去により退任いたしましたので、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

候補者番号 <b>1</b>	まつもと ひろし <b>松本 浩</b> 1956年9月19日生	所有する当社の株式数 0株
 <b>再任</b> 社外監査役 独立役員	<p><b>略歴及び地位</b> 1979年4月 日立マクセル株式会社(現・マクセル株式会社)入社 1984年9月 監査法人朝日会計社(現・有限責任 あずさ監査法人)入社 2007年5月 同監査法人代表社員 2019年7月 松本浩公認会計士事務所所長(現在に至る) 2024年6月 当社監査役(現在に至る)</p> <p><b>重要な兼職の状況</b> 松本浩公認会計士事務所：所長 株式会社鶴見製作所：社外取締役(監査等委員) 株式会社エスコンアセットマネジメント：社外取締役(監査等委員)</p> <p><b>社外監査役候補者とした理由</b> 同氏は、社外役員となること以外の方法で会社経営に関与された経験はありませんが、公認会計士として永年にわたりあずさ監査法人で監査実務に携わられると共に、複数の企業の監査等委員である社外取締役を務めておられ、その豊富な経験・見識を当社の監査に活かしていただいております。これらのことから、引き続き社外監査役候補者といたしました。 同氏の当社社外監査役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって2年となります。</p>	

候補者番号 <b>2</b>	たん かずひこ <b>丹 一彦</b> 1966年9月10日生	所有する当社の株式数 0株
	<p><b>略歴及び地位</b></p> <p>1989年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行) 入行                  2011年4月 株式会社三井住友銀行富山支店 個人営業部長                  2014年4月 同行松原支店 支店長                  2017年4月 同行八尾支店 支店長                  2019年5月 当社出向 経営企画部 副部長                  2020年5月 当社転籍                  2020年7月 人事部 副部長                  2023年4月 業務推進部 副部長                  2025年4月 監査部 副部長                  2025年5月 監査部長                  2026年4月 監査部 審議役(現在に至る)</p>	
<b>新任</b>	<p><b>監査役候補者とした理由</b></p> <p>財務・会計に関する豊富な知見を有すると共に、当社においては管理部門での経験及び監査部長としての経験を有しております。これらの経験を当社の監査に活かせると判断したため、新たに監査役候補者いたしました。</p>	

- (注) 1. 丹一彦氏は新任監査役候補者であります。
2. 松本浩氏は、社外監査役候補者であります。また、同氏は金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
4. 松本浩氏は、2022年6月28日開催の第96期定時株主総会で補欠監査役として選任された後、欠員に伴って2024年6月27日付で監査役に就任したため、本総会終結の時をもって任期満了となるものであります。
5. 社外監査役松本浩氏の在任期間中である2025年5月、当社が運営を受託しているRRH京都オペレーションズ合同会社(リーガロイヤルホテル京都)の宴会場において食中毒事故が発生したため、同社は食品衛生法に基づき京都市保健所より同年5月19日から3日間、当該宴会場の営業停止処分を受けました。
- 同氏は、取締役会及び監査役会において恒常的に法令遵守、業務の適正の確保、リスク管理等の重要性を述べると共に、それらの徹底につき提言を行っており、本件発生後も、食品衛生管理体制の再徹底、再発防止策及びその実施状況等について報告を受け、これに対して社外監査役として必要な対応を行い、その職責を果たしております。
6. 社外監査役との責任限定契約について  
松本浩氏は、現在、当社の社外監査役であり、当社は同氏との間で責任限定契約を締結しております。  
その契約内容の概要は、次のとおりであります。
- ・社外監査役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。
  - ・同氏の再任が承認された場合、当社は同氏との間で当該責任限定契約は引き続き効力を有するものとしております。
7. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により補填することとしております。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社及び当社連結子会社の取締役及び監査役ならびに当社執行役員であり、新任の監査役候補者である丹一彦氏は、選任後、被保険者に含められることとなります。なお、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
8. 略歴及び地位は、2026年5月14日時点で記載しております。

以上

## 1. ロイヤルホテルグループの現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加等により消費動向が高まり、緩やかな回復傾向にある一方で、長期化するウクライナ情勢、米国の関税政策、中国の動向、中東情勢の不安定化や、円安による物価上昇、原材料・エネルギー価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、インバウンドの増加に伴う宿泊需要の増加等の好影響を受け一方で、中国政府による日本渡航自粛要請や中東情勢の不安定化の影響、原材料費・光熱費・人件費をはじめとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

こうした環境下、当社グループは2024年5月に、私どもが日頃から最も大切にし、また今後も揺るがすことのない価値観、存在意義をパーパス「人を、地域を、日本を、世界を、あたたかい心で満たしていこう。」として明確化し、あわせて、ホテル開業100周年を迎える2035年に目指す姿として「RIHGA VISION 2035」を策定いたしました。

また、2024年から始まる中期3カ年計画を「ブランドの再構築と新たな成長に向けた基盤強靱化の期間」と位置づけ、「中期経営計画2026『ReRISE』」

を策定いたしました。中期経営計画では「ホテルブランドカテゴリの再編成・新規展開」「ホテル事業のバリューアップ」「新規出店パイプラインの拡大」を基本戦略として掲げ、各種取組みを推進してまいりました。

「ホテルブランドカテゴリの再編成・新規展開」につきましては、当社の強みを活かしながら多様化するニーズに応え、将来の開発に幅広く対応できるよう、ホテルのグレードとスタイル別にカテゴリを再整理すると共に、ブランドのバリエーションを増やしました。

「ホテル事業のバリューアップ」につきましては、リーガロイヤルホテル(大阪)が2025年4月1日よりIHGホテルズ&リゾーツのコレクションブランドである「ヴィニェット コレクション」に加盟し、客室やフロントカウンターのほか、ロビーや宴会場、レストラン、外壁の一部のリノベーションを行って、「リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション」としてリニューアルオープンいたしました。リーガロイヤルホテル大阪の伝統や歴史に重きをおいた改修・改装デザインに加えて、IHGホテルズ&リゾーツのラグジュアリー&ライフスタイルセグメントのブランドとなることで、リーガロイヤルホテル大阪の競争力が高まり、客室単価が著しく上昇するなど当社

ホテル事業の価値向上に寄与いたしました。

2025年4月13日から10月13日にかけて開催された2025年日本国際博覧会においては、国内外の賓客との国際交流の場として設置された迎賓館の運営業務を受託し、公式行事としてのナショナルデー、スペシャルデーの開催やパビリオン視察等により国内外から訪れる賓客への接遇・飲食の提供等を行ったことも当社ホテル事業のバリューアップに寄与いたしました。

セールス&マーケティング・ブランド発信の強化策として当社会員組織「リーガメンバーズ」を軸に国内顧客基盤の持続的成長に取り組み、「リーガメンバーズ」の会員数は2026年3月に55万人を突破いたしました。

また、インバウンド需要を取り込むべく、北米と欧州に強みのある芝パークホテルと協働し、欧米の展示会・商談会へ5回出展したほか、アジアの展示会・商談会にも7回出展いたしました。

宿泊ビジネスに関するDX推進として各ホテルへのAIレベニューマネジメントシステムの導入に着手し、順次運用を開始いたしました。また、新規PMS（基幹業務システム）のグループホテルへの導入を順次進めました。それらに加えて、社内FAQポータル構築をはじめとするAIの有効活用とDX化による社内文化の再構築、社内DX人材の育成等に取り組みました。

人的資本の強化を目的とした人事運営の改革の一環として、全社員を対象としたベースアップを行ったことに加え、賞与を増額し、定期昇給も合わせると約8%の賃金引き上げを実現し、処遇の改善を実施いたしました。また、当社の事業成長に欠かせない人的資本の拡充を目的とした人事制度の改革を行いました。年功的な賃金制度を見直し、職務を明確化し複線型人事制度を導入することにより、プロフェッショナル人材の育成を強化する制度に変更いたしました。また、新規出店戦略に対応するべく、閉館する他ホテルより約50名を即戦力として採用いたしました。ダイバーシティへの取り組みといたしましては、グループホテルで勤務する外国籍社員を対象に接遇力の向上と日本文化への理解を深めるための日本語研修を継続して行いました。

「新規出店パイプラインの拡大」に関しましては、2026年4月1日開業の「リーガロイヤルリゾート 沖縄 北谷」、同年4月3日開業の「アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば」、同年9月1日開業予定の「バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多」、2028年6月開業予定の「リーガグラン広島」に加え、同年2月に神戸・有馬エリアに開業予定の温泉リゾート新ブランド「ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬」、同年10月開業予定の沖縄・今帰仁エリア新ホテル、2029年3月に北海道に開業予定の「リーガグラン千歳」の

計3ホテルの開業計画を新たに発表いたしました。これにより、すでに開業を発表した4ホテルと合わせて合計7ホテルが2026年4月以降に開業することとなります。

また、インオーガニックな成長として、2025年10月に株式会社芝パークホテルを完全子会社化いたしました。株式会社芝パークホテルは、東京都港区芝公園で「芝パークホテル」及び同区汐留で「パークホテル東京」の2ホテルを運営しており、両ホテルの客室数は合わせて466室となります。芝パークホテルは「ライブラリーホテル」として1,500冊以上の書籍コレクションが並び、ゆっくりと本に浸ることができるホテル体験を提供することをコンセプトとし、パークホテル東京は400点以上のアート作品を展示し、泊まれる美術館のような「アートホテル」をコンセプトとして、海外のお客様から特に強く支持されております。両ホテルの平均客室稼働率は80%台で安定的に推移しており、宿泊客のインバウンド比率が95%、その大半を北米・欧

州・豪州からの訪日客が占めております。本件取引により前期末に比べ連結財務内容が大幅に改善し、セールス&マーケティングのシナジー効果もあることから、投資効率の高いM&Aとなりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、29,273百万円と前年同期比4,109百万円(16.3%)の増収となりました。これは主として2024年11月29日付で株式会社芝パークホテルの株式を取得し連結子会社化したためであります。

損益面では、連結営業利益1,162百万円(前年同期比249百万円の増)、連結経常利益1,189百万円(前年同期比393百万円の増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期に株式会社芝パークホテルの連結子会社化に伴う特別利益1,481百万円を計上したため、1,169百万円(前年同期比567百万円の減)となりました。

今後も不断の努力により、一層の業績改善を図る所存でございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績

売上高

**29,273** 百万円

経常利益

**1,189** 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

**1,169** 百万円

## 事業所別の概要

### 1 株式会社ロイヤルホテル

ホテル運営受託料等収入の売上高は2,194百万円(前年同期は2,200百万円)となりました。直営ホテルであるリーガグラン京都の売上高は1,566百万円(前年同期は1,348百万円)、リーガプレイス京都四条烏丸の売上高は326百万円(前年同期は301百万円)となりました。ホテル製品事業部は、売上高1,911百万円(前年同期は1,914百万円)となり、外部レストラン等の営業を行っている事業所部門では、売上高807百万円(前年同期は750百万円)となりました。

これらの結果、株式会社ロイヤルホテル全体の売上高は、7,338百万円(前年同期は6,577百万円)となりました。

### 2 株式会社リーガロイヤルホテル東京

客室部門売上高は1,320百万円(前年同期は1,322百万円)、宴会部門売上高は1,373百万円(前年同期は1,398百万円)、食堂部門売上高は914百万円(前年同期は917百万円)、全体の売上高は3,906百万円(前年同期は3,929百万円)となりました。

### 3 株式会社リーガロイヤルホテル広島

客室部門売上高は2,729百万円(前年同期は2,559百万円)、宴会部門売上高は2,283百万円(前年同期は2,286百万円)、食堂部門売上高は1,383百万円(前年同期は1,421百万円)、全体の売上高は6,761百万円(前年同期は6,610百万円)となりました。

### 4 株式会社リーガロイヤルホテル小倉

客室部門売上高は1,497百万円(前年同期は1,513百万円)、宴会部門売上高は1,612百万円(前年同期は1,639百万円)、食堂部門売上高は876百万円(前年同期は773百万円)となり、全体の売上高は4,163百万円(前年同期は4,066百万円)となりました。

### 5 株式会社芝パークホテル

客室部門売上高は4,662百万円(前年同期は2,313百万円)、宴会部門売上高は265百万円(前年同期は143百万円)、食堂部門売上高は793百万円(前年同期は366百万円)となり、全体の売上高は5,758百万円(前年同期は2,842百万円)となりました。なお、株式会社芝パークホテルは、2024年11月29日付で連結子会社となったため、前年同期の売上は2024年10月から2025年3月分であります。

## 6 その他

都市センターホテルを運営する株式会社東京ロイヤルホテルの売上高は144百万円(前年同期は96百万円)となりました。

また、株式会社リーガプレイス肥後橋の売上高は1,127百万円(前年同期は990百万円)となりました。

### (2) 資金調達の状況

該当事項はありません。

### (3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました設備投資額は767百万円となりました。

主なものは次のとおりであります。

① 株式会社芝パークホテル	パークホテル東京客室改装工事	157百万円
② 株式会社芝パークホテル	芝パークホテル外壁改装工事	138百万円
③ 株式会社ロイヤルホテル他	宿泊システム入替工事	46百万円
④ 株式会社リーガロイヤルホテル広島	客室浴室便器取替工事	38百万円
⑤ 株式会社芝パークホテル	パソコン購入	27百万円

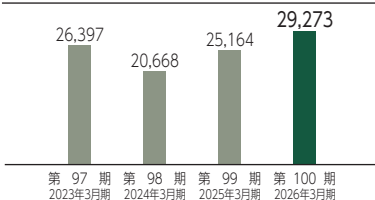
## (4) 財産及び損益の状況の推移

### ① ロイヤルホテルグループの財産及び損益の状況

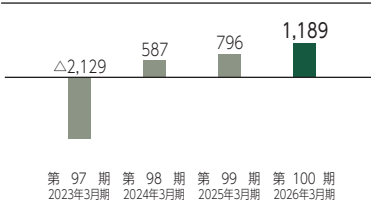
区 分	第 97 期 2023年3月期	第 98 期 2024年3月期	第 99 期 2025年3月期	第 100 期(当期) 2026年3月期
売上高 (百万円)	26,397	20,668	25,164	29,273
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△2,129	587	796	1,189
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,315	901	1,737	1,169
1株当たりの当期純利益(円)	1,252.77	55.30	109.25	69.95
総資産 (百万円)	32,105	31,568	38,361	39,340
純資産 (百万円)	18,942	19,877	23,035	23,851

- (注) 1. 第97期において、特別利益として固定資産売却益15,576百万円、また特別損失として固定資産除却損84百万円、減損損失31百万円等を計上しております。
2. 第98期において、特別利益として投資有価証券売却益104百万円、また特別損失として減損損失93百万円、固定資産除却損43百万円等を計上しております。
3. 第99期において、特別利益として負ののれん発生益1,137百万円、段階取得に係る差益344百万円、また特別損失として減損損失197百万円、固定資産除却損22百万円を計上しております。
4. 第100期において、特別損失として固定資産除却損51百万円、減損損失41百万円を計上しております。
5. 1株当たりの当期純利益は、期中平均発行済株式数(自己株式数を控除したもの)により計算しております。

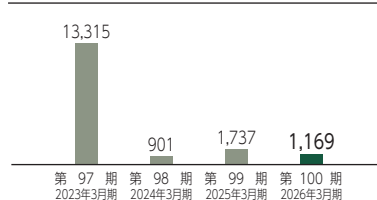
売上高 (単位:百万円)



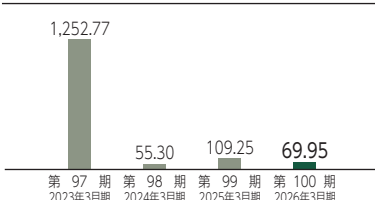
経常利益又は経常損失(△) (単位:百万円)



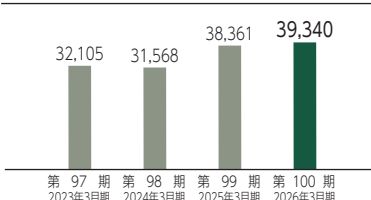
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



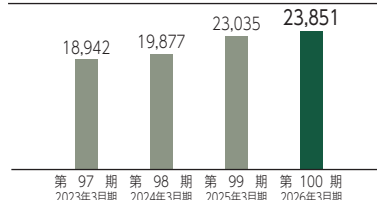
1株当たりの当期純利益 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)

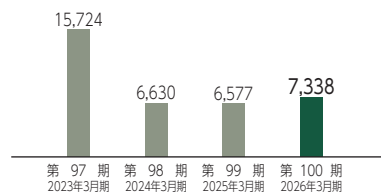


## ② 当社の財産及び損益の状況

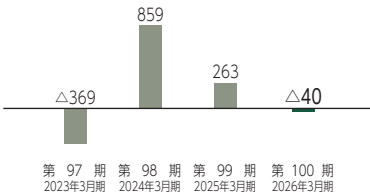
区 分	第 97 期 2023年3月期	第 98 期 2024年3月期	第 99 期 2025年3月期	第 100 期(当期) 2026年3月期
売上高 (百万円)	15,724	6,630	6,577	7,338
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	△369	859	263	△40
当期純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	13,335	926	△129	416
1株当たりの当期純利益又は 1株当たりの当期純損失(△) (円)	1,254.60	57.00	△12.99	20.67
総資産 (百万円)	27,097	26,218	24,947	25,673
純資産 (百万円)	18,969	19,848	19,585	19,857

- (注) 1. 第97期において、特別利益として固定資産売却益15,576百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額1,445百万円、固定資産除却損82百万円等を計上しております。
2. 第98期において、特別利益として投資有価証券売却益104百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額64百万円、固定資産除却損40百万円等を計上しております。
3. 第99期において、特別利益として貸倒引当金戻入額299百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額554百万円等を計上しております。
4. 第100期において、特別利益として貸倒引当金戻入額393百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額352百万円、固定資産除却損11百万円を計上しております。
5. 1株当たりの当期純利益又は1株当たりの当期純損失(△)は、期中平均発行済株式数(自己株式数を控除したもの)により計算しております。

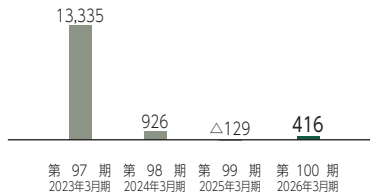
売上高 (単位:百万円)



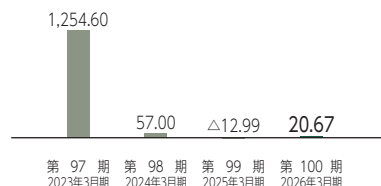
経常利益又は経常損失(△) (単位:百万円)



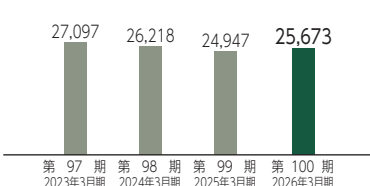
当期純利益又は当期純損失(△) (単位:百万円)



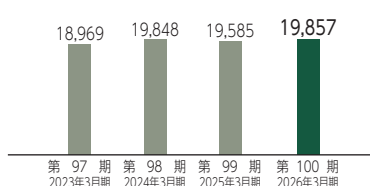
1株当たりの当期純利益又は  
1株当たりの当期純損失(△) (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



## (5) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善による社会経済活動の活発化やインバウンドの増加により、国内外からの需要の増加が見込まれる一方で、不安定な国際情勢や円安による物価上昇、原材料・エネルギー価格の高騰等、依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

ホテル業界におきましても、インバウンドの増加に伴う宿泊需要の増加等の明るい兆しが見えるものの、国際情勢は依然として不安定な状況が続き、原材料費・光熱費・人件費をはじめとした各種コストの増加による収益の悪化が引き続き懸念される上、新規ホテルの開業による競合環境の激化も予想されます。

当社は2024年度を初年度として長期的・持続的に企業価値を拡大するため、成長戦略を柱とした中期経営計画を策定いたしました。成長戦略を柱にいたしましたのは財政状態の改善という根拠に基づいたものです。

当社の連結貸借対照表は、コロナ禍以前のインバウンドブームの2019年3月末には、現預金45億円、借入金302億円、優先株式残高150億円、純資産193億円でした。コロナ禍の2022年3月末には、現預金35億円、借入金318億円、純資産160億円、優先株式残高250億円まで財政状態が落ち込みました。2023年3月末に、リーガロイヤルホテル大阪の土地・建物を売却しアセットライトなビジネスモデルへの転換を図り、借入金の圧縮と優先株式を消却した結果、現預金143億円、純資産189億円、優先株式残高62億円にまで改善いたしました。現預金を活用した株式会社芝パークホテルの良質なM&Aや投資により、2025年3月末には現預金113億円、純資産230億円、優先株式残高62億円、自己資本比率56%と優良な純資産を構築いたしました。

こうした当社財政状態と環境認識を踏まえ、当社グループは「中期経営計画2026『ReRISE』」に掲げる「ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開」「ホテル事業のバリューアップ」「新規出店パイプラインの拡大」を基本戦略として、「RIHGA VISION 2035『安心のサービスと感動のおもてなしで世界中のお客様の期待を越える日本最高峰のホテルグループ』」の実現に向けて、取り組んでまいります。

### ① ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開及び新規出店パイプラインの拡大

ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開につきましては、当社が新たに設定したブランドカテゴリーに基づき新規出店戦略を進めてまいりました。

新規出店戦略は、初期コストを抑制し、賃料条件は一部変動賃料とすることで業績変動リスクを軽減し、運営効率を高めた宿泊主体型ホテルとして省人化することにより、既存のフルサービスホテルと比較して高い利益率を確保する事業モデルを推進してまいります。具体的には、1ホテルあたりの初期投資は3億円強、想定売上高は約14億円、営業利益は約1億円として、約20人の社員で運営するモデルです。

2025年度においては400件を超える引き合いがあり新規出店のパイプラインは順調に拡大しており、

2030年までに10ホテルを新規開業するペースが視野に入っておりまいた。出店候補地に最適なブランドカテゴリーを選定し、国内の宿泊主体型ホテルを中心に2035年までに20ホテル開業し、リーガロイヤルホテルズとして35ホテルを目標に成長戦略を推し進めてまいります。

## ② ホテル事業のバリューアップ

ホテル事業のバリューアップとして、グランドホテルである既存ホテルのバリューアップを図るため、リーガロイヤルホテル東京とリーガロイヤルホテル広島の大規模改装とホテルコンセプトの刷新を検討してまいります。

各ホテルの運営効率向上を図るため、オペレーションのDX化を促進し、多店舗展開への対応力強化を図ってまいります。9月末までに全ホテルでPMS(基幹業務システム)を刷新し、日常業務の効率化と売上から経営までの一元管理を進めてまいります。同時にAIレベニューマネジメントシステムや自動チェックイン機の導入を進め、定型業務を効率化し接客人員の比率を高め顧客満足度の更なる向上を図ってまいります。また、BIツール(経営分析ツール)の導入により、経営データを可視化して分析し、意思決定の迅速化を図ってまいります。これらのDX化推進により、ホテル運営効率の向上と既存ホテルの収益率の強化を図ると共に、経営判断の迅速化と省力化による人材配置の最適化を進めてまいります。

セールス&マーケティング強化の一環として、海外セールスをより一層強化してまいります。東アジアに強みのあるリーガロイヤルホテルと、北米・欧州に強みのある芝パークホテルでエリア効率性の高い営業網の拡大を進めてまいります。韓国・台湾及び欧州・北米市場のセールス&マーケティングの精度を向上させるため、現地事情・商習慣に精通したREP(営業代行会社)3社と新たに業務委託契約を締結いたしました。3社は両海外エリアにおける当社の営業拠点として、専門ノウハウを駆使し販路の拡大と営業・PR活動を展開してまいります。加えて、海外展示会・商談会への出展を前期より9回増やすことにより、韓国・台湾等東アジアと欧米の2エリアのセールスをより強化してまいります。個人客対象のマーケティング強化といたしましては、インバウンド客への対応のため、リーガメンバーズアプリの英語版の実装を進め、再訪時のグループホテルへの周遊やレストラン・バーの利用を促進いたします。年間10万人のペースで会員獲得を進め、2030年に会員数100万人達成を目指してまいります。

人的資本の強化による基盤強化として、新人事制度の運用を開始いたします。新人事制度は年齢に関係なく意欲の高い人物を評価・登用する制度に刷新しております。ジョブディスクリプションを明確にし、責任ある仕事に早期から挑戦できる体制にいたしました。また、サービス、調理、施設管理の専門職から卓越した実績等を有する者で、ホテルの現場でブランド価値を高める人材をプロフェッショナル職に任用し、後進育成も評価の対象にすることでプロフェッショナル人材の育成を強化してまいります。

また、多店舗展開に対応するべく将来の年齢別社員構成を予測し、10年後を見据えて変化に備えてまいります。

これらの取組みを効率よく確実に進めるため、2026年4月1日付で組織体制の改編を実施いたしました。各執行部門の責任範囲及び指示系統の明確化と実行力の強化を目的として、事業運営本部、経営企画本部、管理本部の3本部体制といたしました。新体制では既存事業を改善・効率化し収益を最大化する「知の深化」と将来の柱となる新規事業を探る「知の探索」を両立する「両利きの経営」を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## (6) 主要な事業内容 (2026年3月31日現在)

- ① 宿泊施設の経営
- ② 食堂・宴会場の経営
- ③ スポーツ施設の運営
- ④ 食料品の販売

## (7) 主要な事業所 (2026年3月31日現在)

事業所名	所在地
リーガグラン京都	京都市南区東九条西山王町1番地
リーガプレイス京都 四条烏丸	京都市下京区室町通高辻上る山王町551番地
リーガロイヤルホテル東京	東京都新宿区戸塚町1丁目104番地19
リーガロイヤルホテル広島	広島市中区基町6番78号
リーガロイヤルホテル小倉	北九州市小倉北区浅野2丁目14番2号
リーガプレイス肥後橋	大阪市西区江戸堀1丁目13番10号
芝パークホテル	東京都港区芝公園1丁目5番10号
パークホテル東京	東京都港区東新橋1丁目7番1号

## (8) 使用人の状況 (2026年3月31日現在)

### ① ロイヤルホテルグループの使用人の状況

使用人数(名)	前期末比増減(名)
2,032 (349)	47 (47)

### ② 当社の使用人の状況

使用人数(名)	前期末比増減(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
1,141 (102)	45 (22)	41.7	15.8

(注) ①、②とも使用人数は就業人員であり、臨時使用人数は( )内に年間の平均人員を外数で記載しております。

## (9) 重要な親会社及び子会社の状況 (2026年3月31日現在)

① 重要な親会社の状況  
該当事項はありません。

② 重要な子会社の状況

会社名	資本金(百万円)	出資比率(%)	主要な事業内容
株式会社リーガロイヤルホテル東京	10	100.0	ホテル業
株式会社リーガロイヤルホテル広島	6	75.3	ホテル業
株式会社リーガロイヤルホテル小倉	6	77.1	ホテル業
株式会社東京ロイヤルホテル	49	100.0(27.3)	ホテル業
ロイヤルホスピタリティサービス株式会社	10	100.0	ホテル附帯事業
株式会社リーガプレイス肥後橋	10	100.0	ホテル業
株式会社芝パークホテル	100	100.0	ホテル業

(注) 1. 出資比率の( )は内書で間接保有の出資比率であります。  
2. 2025年10月1日に連結子会社である株式会社芝パークホテルの株式を追加取得し、同社を完全子会社化しております。

## (10) 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

## (11) その他当社グループの現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2.株式に関する事項 (2026年3月31日現在)

### (1) 発行可能株式総数

普通株式 20,000,000株  
A種優先株式 300,000株

### (2) 発行済株式の総数

普通株式 15,303,369株 (自己株式30,360株を含む)  
A種優先株式 125,500株

### (3) 株主数

普通株式 14,187名  
A種優先株式 1名

### (4) 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数 (千株)	持 株 比 率 (%)
Blossoms Holding HK Limited	普通株式 3,631	23.6
アサヒビール株式会社	普通株式 1,961	12.7
森トラスト株式会社	普通株式 1,953	12.7
サントリーホールディングス株式会社	普通株式 1,026	6.7
八木通商株式会社	普通株式 500	3.2
株式会社三井住友銀行	普通株式 292 A種優先株式 125 合計 417	2.7
関電不動産開発株式会社	普通株式 410	2.7
大阪瓦斯株式会社	普通株式 292	1.9
株式会社竹中工務店	普通株式 276	1.8
日本生命保険相互会社	普通株式 161	1.0

(注) 1. 持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合であります。

2. A種優先株式は、無議決権株式であります。

### (5) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

該当事項はありません。

### (6) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 3.新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4.会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役 (2026年3月31日現在)

地 位	氏 名	担 当	重要な兼職の状況
取締役会長	蔭山 秀一		一般社団法人日本ホテル協会:会長 エレコム株式会社:社外取締役 株式会社ダイヘン:社外監査役
※取締役社長	植田 文一	ホテル運営本部担当(兼)ホテル運営本部長	株式会社倉敷国際ホテル:社外取締役
※取締役副社長執行役員	荻田 勝紀	経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長	
取締役執行役員	田沼 直之	関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・芝パークホテル・パークホテル東京担当(兼)関連事業本部長	株式会社リーガロイヤルホテル東京:代表取締役社長 ロイヤルホスピタリティサービス株式会社:代表取締役社長
取締役執行役員	福田 和師	経営企画部長	
取締役	松下 正幸		パナソニックホールディングス株式会社:特別顧問(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取締役	尾崎 裕		大阪瓦斯株式会社:相談役(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取締役	白井 文		(兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取締役	岡本 浩和		ベントール・グリーンオーク株式会社:常務取締役
取締役	中村 俊郎		ベントール・グリーンオーク株式会社:取締役
取締役	國部 毅		株式会社三井住友フィナンシャルグループ:名誉顧問(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
常勤監査役	西村 賢二		
監査役	黒田 淳		
監査役	松本 浩		松本浩公認会計士事務所:所長(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)

(注) 1. ※は代表取締役であります。

2. 取締役松下正幸、尾崎裕、白井文、岡本浩和、中村俊郎及び國部毅の6氏は社外取締役であります。なお、松下正幸、尾崎裕、白井文及び國部毅の4氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 取締役会長蔭山秀一氏は、2025年6月26日付で株式会社ダイヘンの社外監査役に就任いたしました。
4. 取締役執行役員田沼直之氏は、2025年4月1日付で株式会社東京ロイヤルホテルの代表取締役社長を退任いたしました。
5. 取締役執行役員田沼直之氏は、2026年4月1日付で株式会社リーガロイヤルホテル東京の代表取締役社長を退任、及び同日付でロイヤルホスピタリティサービス株式会社の代表取締役社長を退任いたしました。
6. 監査役黒田淳氏及び松本浩氏は、社外監査役であります。なお、両氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。
7. 監査役西村賢二氏は、長年にわたる経理業務の経験を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
8. 監査役黒田淳氏は、金融機関において永年の経験を有し、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
9. 監査役松本浩氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
10. 社外監査役が法定の員数を欠くこととなる場合に備えるため、2025年6月24日開催の第99期定時株主総会において補欠の社外監査役として印藤弘二氏が選任されております。

① 当事業年度中に就任した役員

2025年6月24日開催の第99期定時株主総会において、福田和師氏及び國部毅氏が取締役、西村賢二氏が監査役に、新たに選任されそれぞれ就任いたしました。

② 当事業年度中の役員の異動

当事業年度中の役員の異動はありません。

③ 当事業年度中に退任した役員

2025年6月14日付で、監査役北垣真紀氏は逝去により退任いたしました。また、同年6月24日開催の第99期定時株主総会終結の時をもって、取締役浅沼吉正氏及び奥正之氏ならびに監査役五弓博文氏は任期満了により退任いたしました。

④ 当事業年度の末日後の役員の異動

氏名	新		旧		異動年月日
	地位	担当	地位	担当	
植田 文一	代表取締役社長		代表取締役社長	ホテル運営本部担当(兼)ホテル運営本部長	2026年4月1日
荻田 勝紀	代表取締役副社長執行役員	事業運営本部担当(兼)事業運営本部長	代表取締役副社長執行役員	経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長	2026年4月1日
福田 和師	取締役常務執行役員	経営企画本部担当(兼)経営企画本部長	取締役執行役員	経営企画部長	2026年4月1日
田沼 直之	取締役執行役員	リーガロイヤルホテル東京副担当	取締役執行役員	関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・芝パークホテル・パークホテル東京担当(兼)関連事業本部長	2026年4月1日

## (2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、2006年6月29日開催の第80期定時株主総会で定款を変更し、社外取締役及び社外監査役の責任限定契約に関する規定を設けております。当該定款に基づき当社が社外取締役及び社外監査役の全員と締結した責任限定契約の内容の概要は次のとおりであります。

① 社外取締役の責任限定契約

社外取締役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意であり、かつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。

② 社外監査役の責任限定契約

社外監査役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意であり、かつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。

**(3) 補償契約の内容の概要**

該当事項はありません。

**(4) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要**

当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。但し、被保険者の犯罪行為や被保険者が法令に違反することを認識しながら行った行為に起因する損害は填補されない等、一定の免責事由があります。

当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社及び当社連結子会社の取締役及び監査役ならびに当社執行役員であり、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。

**(5) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等**

① 取締役の個人別の報酬等の額の決定方針に関する事項

(i) 当該方針の決定の方法

当該方針を決定するにあたっては、全社外取締役、取締役会長及び代表取締役社長で構成された任意の指名・報酬委員会への諮問を経て、取締役会にて決定しております。

(ii) 当該方針の内容の概要

当社の取締役の報酬は、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして機能するよう株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては、各職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針とします。具体的には、業務執行取締役の報酬は、固定報酬としての基本報酬と業績連動報酬等により構成し、監督機能を担う社外取締役については、その職務に鑑み、基本報酬のみを支払うこととします。

当社の取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、役位、職責等に応じて、他社水準、当社の業績、従業員給与の水準を考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとします。業績連動報酬等は、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるため業績指標を反映した現金報酬とし、各事業年度の連結経常利益の目標値に対する達成度合い等に応じて算出された額を賞与として毎年一定の時期に支給します。目標となる業績指標は、中期経営計画と整合するよう設定し、適宜、環境の変化に応じて指名・報酬委員会の答申を踏まえた見直しを行うものとします。また、報酬は金銭によるものとし、非金銭報酬等の支給は行いません。業績連動報酬等の額の決定方法の概要は、以下のとおりです。

### 【当社の社内取締役の業績連動報酬体系】

各役員<sup>(1)</sup>の業績連動報酬 = 標準業績連動報酬<sup>(※1)</sup> + (標準業績連動報酬 × 業績評価係数<sup>(※2)</sup>)

※1 標準業績連動報酬 = ベースファンド(注) × (年度基本報酬額 ÷ 対象役員年度基本報酬額の総計) × 業績連動係数<sup>(※3)</sup>  
 (注) ベースファンド = 在籍対象役員数 × 2百万円

※2 業績評価係数：担当部門の平均エンゲージメントポイントに応じて、0%～10%。  
 但し、会長、社長、副社長は全グループの平均値により判定。

※3 業績連動係数

中期経営計画連結経常利益目標達成率	業績連動係数
110%超	110%
35%～110%	35%～110%
35%未満	0%

(iii) 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が当該方針に沿うものであると取締役会が判断した理由

取締役の個人別の報酬等の内容の決定にあたっては、指名・報酬委員会が原案について決定方針との整合性を含めた多様な観点から検討を行っているため、取締役会もその審議結果を、適切性を有するものであり、決定方針に沿うものであると判断しております。

② 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議による定めに関する事項

2006年6月29日開催の第80期定時株主総会において、取締役の金銭報酬の額を20名以内に対し年額400百万円以内(使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない)、監査役の金銭報酬の額を5名以内に対し年額96百万円以内と決議しております。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は15名、監査役の員数は4名であります。

③ 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

該当事項はありません。

④ 取締役及び監査役の報酬等の総額等

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)			対象となる 役員の員数 (人)
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役 (うち社外取締役)	156 ( 34)	139 ( 34)	17 ( ー)	—	13 (7)
監査役 (うち社外監査役)	20 ( 11)	20 ( 11)	—	—	5 (2)
計 (うち社外役員)	177 ( 46)	160 ( 46)	17 ( ー)	—	18 (9)

(注) 1. 上記の取締役及び監査役の支給人員には、2025年6月14日付で退任した監査役1名ならびに同年6月24日開催の第99期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役2名及び監査役1名を含んでおります。

2. 上記業績連動報酬は、当事業年度に係る役員賞与引当金繰入額を記載しております。

3. 業績連動報酬の額の算定の基礎として選定した業績指標の内容は連結経常利益等であり、また、当該業績指標を選定した理由は決算における主要な指標であるためであります。業績連動報酬の額の算定に用いた業績指標に関する実績は、「1.ロイヤルホテルグループの現況に関する事項(4)財産及び損益の状況の推移」に記載のとおりであります。

## (6) 社外役員に関する事項

### ① 社外役員の重要な兼職の状況等(2026年3月31日現在)

区 分	氏 名	兼 職 先 社 名	兼 職 の 内 容	関 係
社 外 取 締 役	松 下 正 幸	パナソニックホールディングス株式会社	特別顧問	
		株式会社ピーエイチピー研究所	代表取締役会長	
		松下不動産株式会社	代表取締役社長	
		公益財団法人松下幸之助記念志財団	理事長	
		株式会社ニュー・オータニ	社外取締役	* 1
		株式会社ホテルオークラ	社外取締役	* 2
	尾 崎 裕	大阪瓦斯株式会社	相談役	
		塩野義製薬株式会社	社外取締役	
		日本放送協会	経営委員会委員	
		広島ガス株式会社	社外取締役	
	白 井 文	三洋化成工業株式会社	社外取締役	
		ブラザー工業株式会社	社外取締役	
	岡 本 浩 和	ベントール・グリーンオーク株式会社	常務取締役	* 3
	中 村 俊 郎	ベントール・グリーンオーク株式会社	取締役	* 3
	國 部 毅	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	名誉顧問	
大正製薬ホールディングス株式会社		社外取締役		
株式会社小松製作所		社外取締役		
南海電気鉄道株式会社 * 4		社外取締役(監査等委員)		
株式会社ファーストリテイリング		社外取締役		
社 外 監 査 役	黒 田 淳			
	松 本 浩	松本浩公認会計士事務所	所長	
		株式会社鶴見製作所	社外取締役(監査等委員)	
	株式会社エスコアセットマネジメント	社外取締役(監査等委員)		

\*1 株式会社ニュー・オータニは、当社と同一の事業目的をもった会社であります。

\*2 株式会社ホテルオークラは、当社と同一の事業目的をもった会社であります。

\*3 ベントール・グリーンオーク株式会社及び同社グループのBlossoms Holding HK Limitedは、当社と資本業務提携契約を締結しており、当社は、同社のグループ会社とリーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクションの運営委託契約を締結しております。また、Blossoms Holding HK Limitedは当社の発行済普通株式の23.7%を保有する大株主であります。

\*4 南海電気鉄道株式会社は、2026年4月1日付で、株式会社NANKAIに商号変更いたしました。

(注) 1. 國部毅氏は、2025年6月27日付で株式会社三井住友フィナンシャルグループの取締役会長を退任、同日付で同社の特別顧問に就任、2026年3月8日付で同社の特別顧問を退任、及び同日付で同社の名誉顧問に就任いたしました。また、同氏は、2025年11月27日付で、株式会社ファーストリテイリングの社外取締役に就任いたしました。

② 社外役員の主な活動状況及び社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要

(i) 主な活動状況等

区 分	氏 名	主 な 活 動 状 況
社 外 取 締 役	松 下 正 幸	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	尾 崎 裕	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	白 井 文	当事業年度に開催された取締役会10回のうち9回に出席し、官民での豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	岡 本 浩 和	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、多岐に亘る業界での経歴と起業経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	中 村 俊 郎	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、多岐に亘る企業に対し収益力強化に向けての施策を主導した経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	國 部 毅	取締役就任後、当事業年度に開催された取締役会8回のうち7回に出席し、金融・経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
社 外 監 査 役	黒 田 淳	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、また当事業年度に開催された監査役会11回全てに出席しました。金融・経営の専門家としての経験等を踏まえて、必要に応じ経営の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための発言を行うと共に、監査結果についての意見交換や監査に関する重要事項の協議を行っております。
	松 本 浩	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、また当事業年度に開催された監査役会11回全てに出席しました。財務・会計の専門家としての経験等を踏まえて、必要に応じ経営の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための発言を行うと共に、監査結果についての意見交換や監査に関する重要事項の協議を行っております。

(ii) 当社の不祥事等に関する対応の概要

当社が運営を受託しているRRH京都オペレーションズ合同会社（リーガロイヤルホテル京都）の宴会場において、2025年5月、食中毒事故が発生したため、同社は食品衛生法に基づき、京都市保健所より同年5月19日から3日間、当該宴会場の営業停止処分を受けました。社外取締役松下正幸氏、尾崎裕氏、白井文氏、岡本浩和氏、中村俊郎氏、及び社外監査役黒田淳氏、松本浩氏は、取締役会及び監査役会において恒常的に法令遵守、業務の適正の確保、リスク管理等の重要性を述べると共に、それらの徹底につき提言を行っており、本件発生後も、発生後に就任した社外取締役國部毅氏を含め、食品衛生管理体制の再徹底、再発防止策及びその実施状況等について報告を受け、これに対して社外取締役又は社外監査役として必要な対応を行い、その職責を果たしております。

**(7) その他会社役員に関する重要な事項**

該当事項はありません。

## 5. 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| ① 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額              | 45百万円 |
| ② 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 65百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約においては、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を区分しておりません。  
 2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積もりの算定根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行い、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。  
 3. 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額以外に、前事業年度に係る追加報酬として12百万円があります。

### (3) 公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務(非監査業務)の内容

該当事項はありません。

### (4) 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

### (5) 補償契約の内容の概要

該当事項はありません。

### (6) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める事由に該当する状況にある場合には、監査役会は会計監査人の解任を検討し、解任が妥当と認められる場合には、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。

また、監査役会は、会計監査人の職務状況や当社の監査体制を勘案し、会計監査人の変更が必要と認められる場合には、会計監査人の不再任に関する議案を株主総会に提出いたします。

(注) 本事業報告中、百万円単位の記載金額は百万円未満、株式数は表示単位未満を切り捨てております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(39,340)	(負債の部)	(15,489)
流動資産	16,191	流動負債	5,146
現金及び預金	12,010	買掛金	518
売掛金	2,303	短期借入金	81
原材料及び貯蔵品	379	未払費用	2,016
その他	1,501	契約負債	652
貸倒引当金	△2	賞与引当金	857
固定資産	23,149	役員賞与引当金	56
有形固定資産	8,525	その他	963
建物及び構築物	1,689	固定負債	10,342
土地	5,769	長期借入金	271
その他	1,067	リース債務	131
無形固定資産	165	長期預り金	2,196
ソフトウェア	150	退職給付に係る負債	5,120
その他	14	役員退職慰労引当金	69
投資その他の資産	14,458	繰延税金負債	1,434
投資有価証券	263	その他	1,118
匿名組合出資金	1,142	(純資産の部)	(23,851)
長期差入保証金	12,800	株主資本	23,832
繰延税金資産	170	資本金	100
その他	104	資本剰余金	11,673
貸倒引当金	△23	利益剰余金	12,121
資産合計	39,340	自己株式	△62
		その他の包括利益累計額	18
		その他有価証券評価差額金	40
		退職給付に係る調整累計額	△21
		負債純資産合計	39,340

百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		29,273
売上原価		4,320
売上総利益		24,953
販売費及び一般管理費		23,791
営業利益		1,162
営業外収益		
受取利息及び配当金	26	
補助金収入	12	
ポイント失効益	17	
その他の収益	36	92
営業外費用		
支払利息	7	
匿名組合投資損失	43	
その他の費用	13	64
経常利益		1,189
特別損失		
固定資産除却損	51	
減損損失	41	93
税金等調整前当期純利益		1,096
法人税、住民税及び事業税	68	
法人税等調整額	△155	△87
当期純利益		1,183
非支配株主に帰属する当期純利益		14
親会社株主に帰属する当期純利益		1,169

百万円未満は切り捨てて表示しております。

# 計算書類

## 貸借対照表 (2026年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(25,673)	(負債の部)	(5,815)
流動資産	14,112	流動負債	1,892
現金及び預金	6,682	買掛金	124
売掛金	449	リース債務	30
原材料及び貯蔵品	261	未払金	184
前払費用	104	未払費用	535
短期貸付金	5,403	未払法人税等	11
その他	1,214	契約負債	337
貸倒引当金	△2	預り金	150
固定資産	11,560	賞与引当金	377
有形固定資産	665	役員賞与引当金	56
建物	91	その他	82
機械装置	15	固定負債	3,923
車両運搬具	0	リース債務	61
工具、器具及び備品	392	長期預り金	610
リース資産	71	退職給付引当金	3,245
その他	94	その他	6
無形固定資産	119	(純資産の部)	(19,857)
電話施設利用権	0	株主資本	19,857
ソフトウェア	109	資本金	100
その他	9	資本剰余金	10,342
投資その他の資産	10,774	その他資本剰余金	10,342
投資有価証券	84	利益剰余金	9,477
匿名組合出資金	1,142	利益準備金	25
関係会社株式	3,184	その他利益剰余金	9,452
長期貸付金	15,320	繰越利益剰余金	9,452
長期差入保証金	482	自己株式	△62
繰延税金資産	389		
その他	49		
貸倒引当金	△9,877		
資産合計	25,673	負債純資産合計	25,673

百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 損益計算書 (2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		7,338
売上原価		1,481
売上総利益		5,856
販売費及び一般管理費		6,299
営業損失(△)		△442
営業外収益		
受取利息及び配当金	421	
ポイント失効益	14	
その他の収益	19	455
営業外費用		
匿名組合投資損失	43	
その他の費用	9	52
経常損失(△)		△40
特別利益		
貸倒引当金戻入額	393	393
特別損失		
貸倒引当金繰入額	352	
固定資産除却損	11	363
税引前当期純損失(△)		△10
法人税、住民税及び事業税	△130	
法人税等調整額	△296	△427
当期純利益		416

百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書

### 独立監査人の監査報告書

2026年5月14日

株式会社 ロイヤルホテル  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 山田 徹 雄

公認会計士 雨河 竜 夫

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ロイヤルホテルの2025年4月1日から2026年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ロイヤルホテル及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適

正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・連結計算書類に対する意見表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、連結計算書類の監査を計画し実施する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 会計監査人の監査報告書

## 独立監査人の監査報告書

2026年5月14日

株式会社 ロイヤルホテル  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 山田 徹 雄

公認会計士 雨河 竜 夫

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ロイヤルホテルの2025年4月1日から2026年3月31日までの第100期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告書 謄本

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2025年4月1日から2026年3月31日までの第100期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、電話回線又はインターネット等を経由した手段も活用しながら、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。なお、監査上の主要な検討事項については、会計監査人と協議を行うとともに、その監査の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）ならびに計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2026年5月14日

株式会社ロイヤルホテル 監査役会

常勤監査役 西村 賢二 ㊟

社外監査役 黒田 淳 ㊟

社外監査役 松本 浩 ㊟

以上

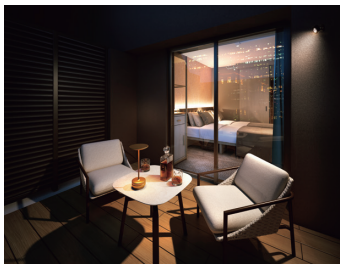
## 新規ホテル 今後の開業予定



[2026年9月1日]

## バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多

JR博多駅から徒歩圏内、街の賑わいを活かしたコンセプトのホテルです。「HOTEL BAR」をテーマにリラックスした雰囲気でお酒や会話を楽しみ、随所にバーのムードを感じさせるデザインや演出で、特別な旅の時間を提供します。



[2028年2月]

## ノワ・バイ・リーガ 神戸有馬

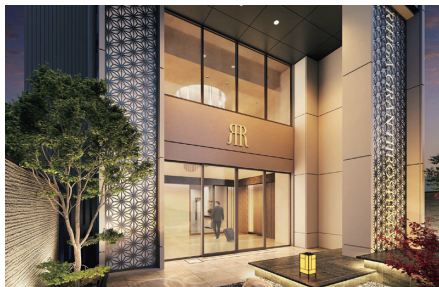
「こころの静寂(しじま)に、心尽くしのおもてなし」をコンセプトに、四季折々の自然を感じる静謐な空間、土地の恵みを活かした食、心身をとほぐす温泉、あたたかいおもてなしで上質な息を提供する洗練された和のリゾートです。



[2028年6月]

## リーガグラン広島

緑豊かな「平和大通り」に面し、広島駅や中心部の繁華街からもアクセスしやすいエリア。ご当地ならではのエッセンスを楽しめる上質な滞在をお届けします。



[2028年10月]

## (名称未定) 沖縄・今帰仁 なきじん

美しいビーチに面する抜群のロケーションと中長期滞在にも対応する充実した客室設備で、歴史と自然に包まれた穏やかな時間を過ごすリゾートです。

[2029年3月]

## リーガグラン千歳

千歳駅前に位置し、ビジネスや北海道観光の拠点として便利なエリア。ゆったりした客室と旅の疲れを癒す大浴場などの設備を備えます。

# 安全・安心で持続可能な社会の実現に向けて



私たちは「持続可能な社会」を実現するために、SDGs(持続可能な開発目標)を重視しながら課題に取り組み、社会的責任を果たしてまいります。

## 環境

### 食品ロス削減の取組み～mottECOを導入

環境省が推奨する食品ロス削減の取組み「mottECO(モットエコ)」を一部対象ホテルで2025年11月より導入しました。レストランで食べきれなかった料理の持ち帰りを希望するお客様に、自己責任のもと有償で提供する専用容器に移し替え、ご自宅に持ち帰っていただくことで、食品ロスの削減を目指します。これまで進めてきた宴席料理の食べきりを促す「3010運動」による啓蒙活動、食品残さのたい肥化、持続可能な航空燃料(SAF)の原料としての廃食油提供など、食の循環やリサイクルに加えて食品ロス削減に向けた取組みをさらに強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



## 健康経営

### 健康経営優良法人2026

健康経営に関する取組みが評価され、当社および子会社6社が、経済産業省と日本健康会議が推進する「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」の認定を受けました。

認定は6年連続となります。



## 社会

### カスタマーハラスメント対応方針策定

すべてのお客様へ「あたたかいおもてなし」を提供するために、従業員が安心して働き続けられる職場環境を守ることが不可欠と考え、「カスタマーハラスメント対応方針」を策定しました。

## 社会

### カスタマーハラスメント対応研修 人権研修の実施

人権に関する基本的な考え方を学ぶ研修を実施しています。従業員一人ひとりの理解を深め、業務の基盤となる意識の醸成に取り組んでいます。

## 表彰

### 日本ホテル協会「会員ホテルの社会貢献に対する会長表彰」優秀賞を受賞

リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクションの、子どもたちへホテルを通じた学びや体験の機会を提供する取組みが、ホテルの特性を生かした社会的意義のある活動として評価されました。マナー講習会やホテルのサステナビリティを学ぶプログラム、ワークショップなど、学校生活では得がたい体験や社会課題に触れる機会を創出することで、次世代を担う子どもたちの気づきや学びにつながることを目指しました。今後もホテルならではの役割を通じて、地域や社会とのつながりを大切にしたい取組みを進めていきます。



## リーガロイヤルホテルズ

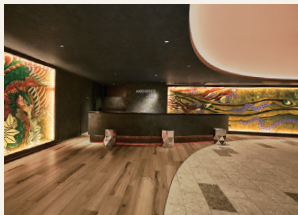
### リーガロイヤルリゾート沖繩 <sup>ちやたん</sup>北谷 開業 2026.4.1

「海と空と煌めきの沖縄アーバンリゾート」をコンセプトに、初のコンドミニアムホテルがオープン。美しいサンセットを望む開放感溢れるインフィニティプールや、スイートを中心に全室40㎡以上の広々とした客室、南国の美食を味わえるレストランで、リゾートならではの贅沢なひとときをお過ごしいただけます。



### アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば 開業 2026.4.3

大阪・なんばに新ブランドホテルが誕生。ロビーに広がる「鳳凰」をモチーフとした壁画をはじめ、多人数での滞在も可能な客室や大浴場等、館内をエネルギー溢れるアートが彩ります。また、レストランでは、ローカルフードをアレンジした料理などを提供。さらに、新世界エリアへは徒歩圏内で、「ディープな大阪」を楽しむ観光の拠点として、記憶に残る“PLAYFUL”な滞在をお届けします。



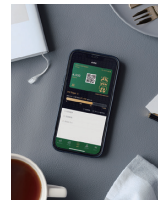
### 統括総料理長に豊田 光浩が就任 2026.4

1986年に入社し、1999年には料理研修のため渡仏。帰国後はリーガロイヤルホテル(現 リーガロイヤルホテル大阪)最上級フレンチレストラン「レストラン シャンボール」のシェフや、広島・小倉の各リーガロイヤルホテルにて総料理長を歴任。この度、統括総料理長 兼 リーガロイヤルホテル大阪 総料理長に就任しました。味わいはもちろん、ひと皿としての調和や完成度まで追求した料理を通じて、「食のロイヤル」と称されるリーガロイヤルホテルズならではの食の価値を発信してまいります。



## リーガメンバーズ NEWS

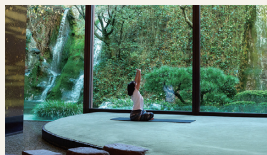
全17ホテルの宿泊やレストランなどのご利用でポイントが貯まり、利用すればするほどお得なサービスを受けられる「リーガメンバーズ」。2025年3月末に、株主優待「リーガメンバーズ ポイント進呈制度」を開始しました。今後も、「ポイント交換サイト」や「英語版アプリ」など、新機能を公開予定。より便利な会員サービスへの成長を目指してまいります。



## リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション

### グランドオープンから1周年 2026.4.1

2025年4月のグランドオープンから1年。「ヴィニェット コレクション」は、「唯一無二のご滞在(One-of-a-kind stays)」や「思い出に残るリチュアル(Memorable Rituals)」をひとつの特徴とし、ホテルのユニークなアイデンティティや地域性と、ゲストの結びつきを大切にしています。大阪の人々に親しまれてきた「ひやしあめ」をお楽しみいただけるながら、スタインウェイ&サンズの SPIRIOによる自動演奏をご体験いただけるほか、2026年2月より、クラブフロア宿泊者限定で「朝ヨガ体験」を実施。日本庭園を望むメインラウンジの静けさと開放感に包まれる上質な空間で、心身を整えるラグジュアリーな朝の時間をお過ごしいただけます。



「朝ヨガ体験」イメージ

## 芝パークホテル

### 国境を越えてゲスト同士をつなぐ、「旅する本棚」を新設 2026.3~

世界中のゲストが次の誰かのために、旅の途中で読み終えた本を置いていく、“本の交換棚”。本を棚に一冊置くと、棚にある本から一冊を持ち帰ることができ、次の読者への想いをメッセージとして添えることもできます。海外ゲストが95%超を占める当ホテルならではの、多言語・多文化の循環を生み、本を通じた偶然的な出会いとサステナブルな旅の体験を提供します。



## リーガロイヤルホテル東京

### より上質な滞在を叶える エグゼクティブフロアのサービスを拡充

2025.10~

11階・12階の宿泊者のみ、ワンランク上の滞在を提供する特典・サービスを導入。新たに、老若男女に愛されるロクシタンのスキンケアセットをはじめ、濃厚で香り高い味わいをお楽しみいただけるネスプレッソコーヒーマーカーなど計8種のサービスを追加しました。快適性と上質感を併せ持つ客室環境を備え、今後も、ゲスト一人ひとりのニーズに寄り添う、きめ細やかなホスピタリティ溢れるサービスをお届けしてまいります。



エグゼクティブフロア  
ジュニアスイート イメージ



ロクシタン アメニティ  
“HOTEL SKINCARE SET NIGHT & DAY”

## リーガロイヤルホテル広島

### 広島もとまち水族館との コラボレーションメニューを展開

2025.10

2025年に開業した、舞台美術の技法を取り入れた水といのちのミュージアム「広島もとまち水族館」と協働し、レストラン3店舗で期間限定特別メニューを販売しました。8つの展示から3シーンを選定し、海のみさと生き物の魅力を鮮やかに表現。それぞれの世界観とともに、新しい広島の魅力を体感できるメニューとなりました。今後も継続してコラボレーションを展開する予定です。



広島もとまち水族館 イメージ



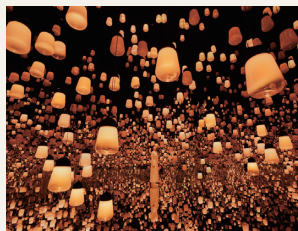
広島もとまち水族館コラボデザートプレート

## リーガロイヤルホテル京都

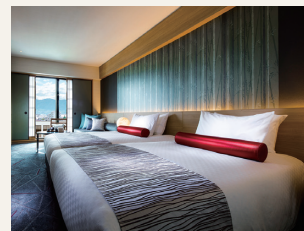
### 「チームラボ バイオヴォルテックス 京都 チケット付ステイプラン」を販売

2026.2~

京都駅東南部エリアプロジェクトの一環として開業した「チームラボ バイオヴォルテックス 京都-大成建設」では、延べ面積約1万㎡の空間に50以上の作品を展示し、圧倒的な没入体験が楽しめます。アートとサイエンス、テクノロジーが織りなす幻想的な世界観を、京の風情と現代的なデザインを散りばめた当ホテルでの滞在とともにご堪能いただけます。



(左)チームラボ(呼応するランプの森: One Stroke- a Year in the Mountains) ©チームラボ  
(右)プレミアムフロア スーペリアツイン イメージ



## リーガロイヤルホテル小倉

### 小倉の歴史と文化を学ぶ 春の「小倉散策プラン」が登場

2026.2

小倉城の見学をはじめ、ゼンリンミュージアムでの鑑賞、「小倉 縞縞」の小倉織アイテムのお買い物と、小倉の魅力を一度で愉しめる宿泊プランが期間限定で登場しました。歴史ある小倉城や庭園、地図が語る時代の物語、受け継がれてきた織物の文化にふれながら、ホテルステイをお楽しみいただきたいという思いから実現。今後も北九州ならではの滞在を提案してまいります。



小倉城と桜 イメージ



ゼンリンミュージアム館内

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告書

ご参考



RIHGA ROYAL HOTELS

●印のホテルで株主優待券がご利用いただけます。



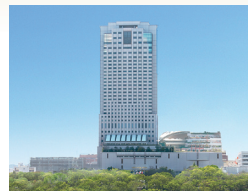
リーガロイヤル  
ラグーナ・グアム・リゾート  
[米国・グアム]  
TEL 1-671-646-2222



リーガロイヤルホテル小倉  
[福岡・小倉駅前] ●  
TEL (093) 531-1121



バウンシー・バイ・リーガ  
福岡博多  
[福岡・祇園] ●  
2026年9月 開業予定



リーガロイヤルホテル広島  
[広島・基町] ●  
TEL (082) 502-1121



アンカード・バイ・リーガ  
大阪なんば  
[大阪・難波] ●  
TEL (06) 6644-1121



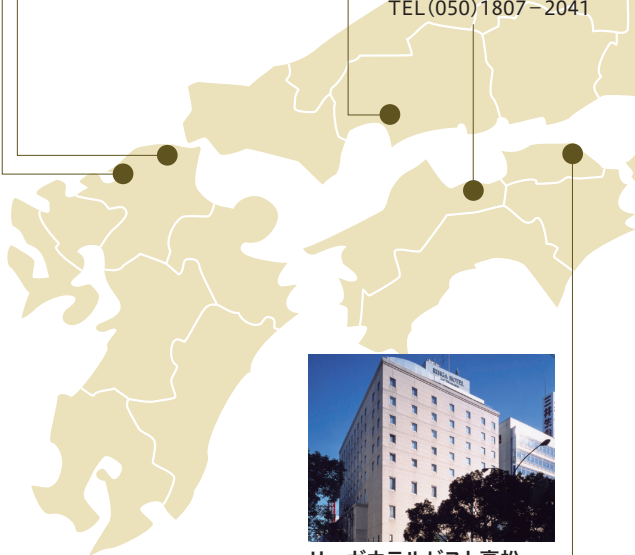
リーガロイヤルホテル新居浜  
[愛媛・新居浜] ●  
TEL (050) 1807-2041



リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷  
[沖縄・北谷] ●  
TEL (098) 989-7077



リーガロイヤルグラン沖縄  
[沖縄・那覇] ●  
TEL (098) 867-3331



リーガホテルゼスト高松  
[香川・高松]  
TEL (087) 822-3555

宿泊予約専用フリーダイヤル:0120-116180  
月～金/9:00～18:00 土・日・祝日/10:00～16:00



リーガプレイス肥後橋  
[大阪・肥後橋] ●  
TEL(06)6447-1122



リーガロイヤルホテル大阪  
ヴィニエツ コレクション  
[大阪・中之島] ●  
TEL(06)6448-1121



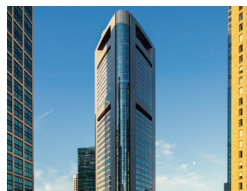
リーガロイヤルホテル東京  
[東京・早稲田] ●  
TEL(03)5285-1121



都市センターホテル  
[東京・千代田区] ●  
TEL(03)3265-8211



芝パークホテル  
[東京・港区] ●  
TEL(03)3433-4141



パークホテル東京  
[東京・港区] ●  
TEL(03)6252-1111



リーガグラン京都  
[京都・京都駅南側] ●  
TEL(075)662-1121



リーガプレイス京都 四条烏丸  
[京都・四条烏丸] ●  
TEL(075)342-1121



リーガロイヤルホテル京都  
[京都・京都駅西側] ●  
TEL(075)341-1121

# 株主優待制度のご案内

## 500株以上保有株主様への リーガメンバーズ進呈ポイントが倍増します！

(旧)		保有期間		➔	(新)		保有期間	
		3年未満	3年以上				3年未満	3年以上
保有 株式数	500株以上 1,000株未満	5,000pt	7,000pt		保有 株式数	500株以上 1,000株未満	10,000pt	14,000pt
	1,000株以上	10,000pt	12,000pt			1,000株以上	20,000pt	24,000pt

※ポイントの進呈にあたっては、リーガメンバーズ会員にご登録いただく必要がございます。詳細は、対象の株主様にお送りしている同封のご案内に記載しており、所定のお手続きをいただいた株主様を対象にポイントを付与いたします。  
【ポイント有効期限 9月1日～翌年8月31日】

※本年7月以降、ご宿泊優待券が一部のアソシエイトホテルを除き、新規開業ホテルも含めてほぼ全てのグループホテルでご利用いただけるようになります。



ご宿泊優待券  
シンプルステイプラン  
(素泊り・変動料金)

15%OFF

<https://www.rihga.co.jp/stock-benefit-stay>



ご飲食優待券  
飲食料金

20%OFF



ご婚礼優待券  
披露宴のお料理・お飲物料金

8%OFF

### ご優待基準

毎年3月末・9月末現在の株主様にご所有株式数に応じてそれぞれ下記の枚数のご優待券を贈呈いたします。

ご所有株式	ご宿泊優待券	ご飲食優待券	ご婚礼優待券
100株以上	10枚	6枚	2枚
200株以上	15枚	9枚	3枚
1,000株以上	20枚	12枚	4枚
5,000株以上	25枚	15枚	5枚
10,000株以上	30枚	18枚	6枚

※他の割引制度・ホテル発行のホテル券及びパッケージ商品ならびに当社ウェブサイト以外の外部ウェブサイトで提供しているプラン等をご利用の場合には優待券はお使いいただけません。

# ご参考

## 【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、ご所有の株式が、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、各窓口にご照会ください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>・届出住所・姓名などのご変更</li> <li>・配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	<p>口座を開設されている証券会社</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	<p>株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部</p>

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>・特別口座から証券口座への振替請求</li> <li>・届出住所・姓名などのご変更</li> <li>・配当金の受領方法・振込先のご変更</li> </ul>	<p>特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>・支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>・株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	<p>株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部</p>

## 株主メモ

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

毎年6月開催

### 基準日

定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、予め公告して定めたり

### 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人 事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 電話照会先

☎0120-782-031  
 受付時間 9:00~17:00  
 (土・日・祝日および12/31~1/3を除く)

### インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

### 公告の方法

電子公告により公告します。< <http://www.rihga.co.jp> >但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告をすることとします。

### 上場金融商品取引所

東京証券取引所(スタンダード市場)

# 株主総会会場略図

当会社

リーガロイヤルホテル大阪

ヴェニエット コレクション

2階・桐の間

所在地：大阪市北区中之島  
5丁目3番68号  
電話：06-6448-1121

## 電車をご利用の場合

- 京阪電車中之島線  
中之島駅 直結
- JR大阪環状線  
福島駅 より徒歩約15分
- JR東西線  
新福島駅 の2番出口より徒歩約8分
- 阪神電車阪神本線  
福島駅 の西3番出口より徒歩約8分

車椅子でご来場の方は、会場スタッフが  
お手伝いさせていただきますので、  
受付で係員にお申し付けください。



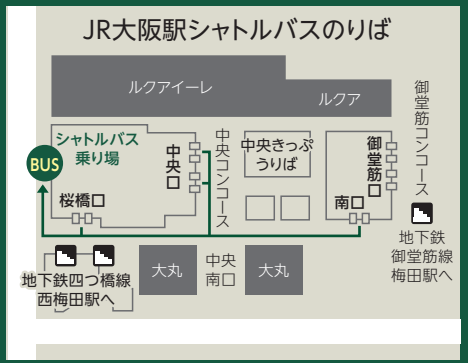
## シャトルバスのご案内

リーガロイヤルホテル大阪～  
JR大阪駅間を循環

乗り場：JR大阪駅西側（高架下南寄り）

大阪駅発  
7:45～22:30 毎時15分間隔

(注)大阪駅からリーガロイヤルホテル大阪行きのシャトルバスは、  
混雑する場合がございます。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

